



# ゆづりは

堺市立図書館だより

第13巻

第1号 (通巻47号)

発行日  
編集・発行

平成30年6月10日  
堺市立中央図書館  
〒590-0801 堺市堺区大仙中町 18-1

電話  
FAX  
URL

072 (244) 3811  
072 (244) 3321  
<http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/index.html>

## 旭堂南陵様より、堺出身の芥川賞受賞作家 由起しげ子氏に関する資料をご寄贈いただきました

堺親善大使、講談師の旭堂南陵様より、堺市出身の小説家、由起しげ子氏の直筆原稿、エッセイが掲載された当時の雑誌、著書等約60点のご寄贈をいただきました。

由起しげ子氏は昭和24年に「本の話」で戦後初の芥川賞を受賞。その後も「告别」「漁火」「女中ッ子」「沢夫人の貞節」などの作品を執筆されました。

ご寄贈いただいた資料は平成30(2018)年3月23日から4月22日まで「堺出身・戦後初の芥川賞作家 由起しげ子」と題し中央図書館にて展示を行いました。



旭堂南陵氏  
(府立泉陽高等学校の先輩でもある由起しげ子氏の直筆原稿を手に)

## 国際ソロプチミスト堺様より、展示ケースをご寄贈 いただきました

国際ソロプチミスト堺認証30周年記念として、展示ケースをご寄贈いただきました。展示ケースは中央図書館1階ロビーに設置し、5月18日に除幕式、感謝状の贈呈を行いました。



ご寄贈いただいた展示ケース



右：国際ソロプチミスト堺 杉浦会長  
左：中谷教育長

国際ソロプチミスト堺様には1990年度から毎年外国語の絵本をご寄贈いただき、その点数は1,200点以上となっています。

ご寄贈いただいた絵本は中央図書館こども室の「国際ソロプチミスト堺文庫」でご利用いただけるほか、各区の図書館で毎年巡回ブックフェアを実施しています。



## 目次

旭堂南陵様より、堺出身の芥川賞受賞作家 由起しげ子氏に関する資料をご寄贈いただきました	… 1
国際ソロプチミスト堺様より、展示ケースをご寄贈いただきました	… 1
シリーズ堺の〇〇	… 2
さかいの街道(紀州街道)	
中央図書館に「さかい地域産業コーナー」を設けました	… 2
この本で解決!	… 3
堺かるた いろはの「せ」	… 3
司書のイチ押し! 『多数決を疑う：社会的選択理論とは何か』	… 4
堺市立図書館電話番号一覧	… 4

## ゆづりは

とは...

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに  
ゆづりゆづりて  
譲り葉の  
ゆづりしあとに  
また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を超えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。



# シリーズ 堺の〇〇 さかいの街道 (紀州街道)



堺市内には、長尾、竹内、西高野、熊野(小栗)、紀州のいわゆる「さかいの五街道」とよばれる街道などがあり、一部はなくなっているものの、現在でもその道をたどることができます。

今回は紀州街道について紹介します。

紀州街道の起点は諸説ありますが、大阪市内の高麗橋を起点とすると堺筋、住吉大社を経て、大和川にかかる大和橋を渡って堺に入ることになります。堺市内では並松町から阪堺電車(通称チンチン電車)の通る大道を経て、西湊町に入っていきます。

紀州街道の西湊町については、司馬遼太郎の『街道をゆく 郡上・白川街道、堺・紀州街道ほか』の中で、詳しく書かれていますが、その一部を紹介しましょう。

『この紀州街道はな、二階がこう、低くおまっしゃろ。お殿さんがな、行列組んでここ通ったさかいな、みな遠慮してな、低うしとこ、というので低うしたというのが町内の言い伝えだす』このように紀州街道は近世以降、紀州藩が参勤交代で使い、摂津、和泉の大阪と紀州・和歌山をつなぐ主要な道として発達していきました。

また、『街道をゆく』には、菅原道真を大宰府に送るときに船待ちをしたところから船待神社の名がついたことなどが書かれていますが、堺の特徴として、「古い堺人の姓には、妙なが多い。たとえば隆達の姓は高三である。(略)宿院



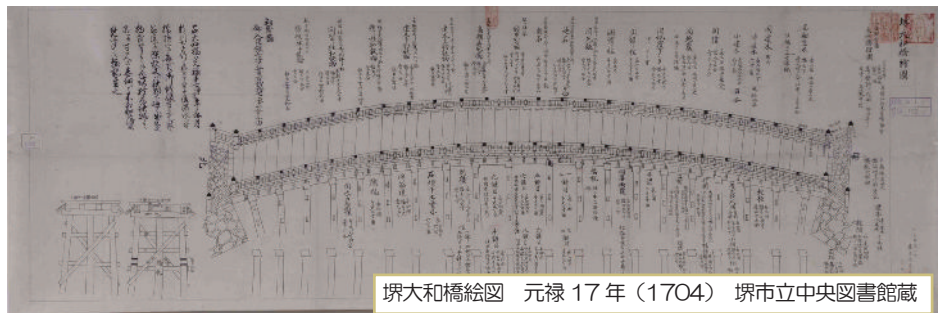
西湊町の紀州街道沿いにある旧湊郵便局 昭和8年(1933)開局

に、うどんやの美々卵がある。(略) この家の姓は耳という字一字である。指という姓があったような記憶があるし、指吸というのもある。(略) 利休の千というのは自分で創った姓らしいが、一字姓好みが堺にあったのだろうか。」と司馬遼太郎の考察が書かれています。

紀州街道は、このあと石津を通り、浜寺公園を経て、高石市に入っていきます。

西湊町の紀州街道は、現在も古い家並が残り、その趣を感じ取ることができます。

【参考文献】  
『大阪の街道』 神野清秀/著 1989年  
『紀州街道』 上方史蹟散策の会/著 2004年  
『街道の日本史 33 大坂 摂津・河内・和泉』 吉川弘文館 2006年  
『街道をゆく 4 郡上・白川街道、堺・紀州街道ほか』 司馬遼太郎/著 1999年  
『紀州街道をゆく 堺西湊町歴史絵図』 (紀州街道を生かす会) 2013年  
『写真集 堺・湊の風景 100』 (湊駅前東通り商店会) 2013年



堺大和橋絵図 元禄 17年(1704) 堺市立中央図書館蔵

## 中央図書館に「さかい地域産業コーナー」を設けました

暮らしの中には、堺の歴史が息づいているものが数多くあります。「さかい地域産業コーナー」ではそれら「刃物」「自転車」「和菓子」「線香」「注染」「昆布加工」「醸造」などを紹介する図書を収集し提供しています。堺のものづくりの歴史と技術を、身近に感じていただければ幸いです。

また合わせて、地域で仕事をすすめていく上で参考になる図書・パンフレットなども置いています。ぜひご利用ください。





普段の生活の中でふと「あれ、なんだろう？」と思うことはありませんか？今回は、身近な食べ物に関する疑問を紹介します。

はんげしょう  
○半夏生の日に、たこを食べる風習があるのはなぜか。

『大阪食文化大全』(笹井 良隆／編著 西日本出版社)によると、大阪の和泉・河内や関西圏の農村地域では、稲の根がタコの足のように大地にはりつくよう祈念し、梅雨明けの半夏生(夏至から数えて11日



目に、タコを食べて疲れを癒していた、とあります。タコは疲労回復によく、解毒作用もあるといわれています。2018年の半夏生は7月2日です。あなたもたこを食べてみませんか？

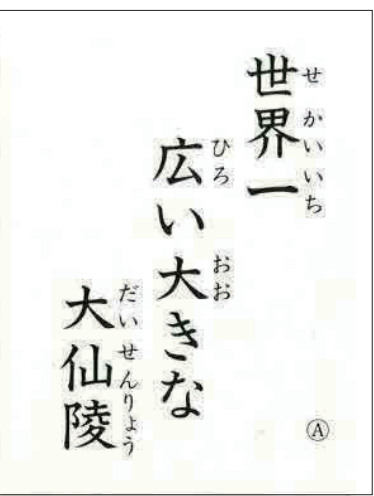
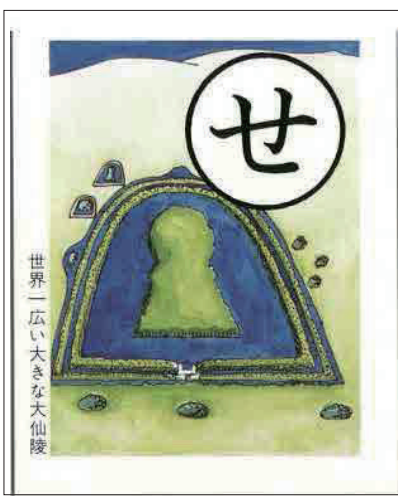
○鰯(魚篇に反がつく漢字)はなんと読むのか。

『新潮日本語漢字辞典』(新潮社／編 新潮社)によると、読みは「ハン」「はまち」、意味は「①はまち。出世魚である鰯(ぶり)の、成長過程における呼び名のひとつ。②平目(ひらめ)や鰯(かれい)の総称(以下略)。③鯛(たい)の一種」とあります。



『ザ教養魚へん魚講座』(江戸家 鰯八／著 新潮社)では、漢字ごとに、どうしてこんな字なのか、どんな魚なのか、調理の仕方、地域ごとの呼び名の違いがわかります。

魚偏の漢字を知れば、お店で見かける、魚偏の漢字がたくさん書かれた湯呑を見るのが楽しくなりそうです。



大仙陵(仁徳天皇陵古墳)は全長486mの前方後円墳で、クフ王のピラミッド、秦の始皇帝陵と並んで世界三大墳墓のひとつに数えられています。当時の工法では、延べ680万人もの作業員が必要で、1日最大2千人が働いても完成までに15年8ヶ月かかるとの試算もあり、それだけの大事業であったかしのばれます。

現在は古墳を1周する遊歩道もあり、この雄大な古墳を実感することができます。

参考文献  
『百舌鳥古市古墳群 世界文化遺産を大阪に』 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議／出版 2016年  
『百舌鳥古墳群ガイドブック 古墳のなぜ？なに？』 堺市博物館／編集 2013年 堺市

ふるさと納税で図書館児童資料の充実にご協力をお願いします  
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。  
(<http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/oshirase/lib-furusato.html>)

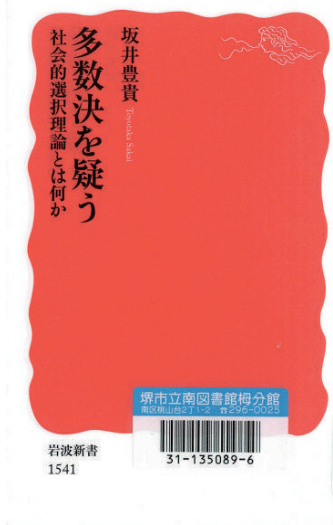


司書のイチ押し



『多数決を疑う：社会的選択理論とは何か』坂井豊貴 / 著

岩波書店



民主的に意見を集約し、決定を行おうとしたとき、よく使われるのが多数決です。ひとりひとりが自分の意思表示をし、多数派の意見を尊重しているように見える多数決。しかし、必ずしもそうではない。この本は場合によってはより民主的に決定を行う方法があることを、様々な観点から説明しています。

多数決が多数派の意見を汲み取らない例として挙げられているのが、アメリカで2000年に行われた大統領選挙です。共和党からはジョージ・W・ブッシュ、民主党からはアル・ゴアが候補となり、接戦を繰り広げました。事前の世論調査ではゴアが有利との結果がでていましたが、途中で第三の候補、ラルフ・ネーダーが立候補します。彼の政策はゴアに近く、結果としてゴアの票の一部がネーダーに奪われブッシュの勝利となりました。ネーダーがいなければ、選挙結果は変わっていたかもしれません。しかし、第三の候補として新たな選択肢を与えたこと

は、決して悪いこととは言えません。著者の坂井さんは、この例を受け、多数決には意思を細かく表明できない・適切に反映してくれないという難点があるのではないかと記しています。

投票で多数の人の意思をひとつに集約する仕組みを「集約ルール」と呼ぶそうですが、集約ルールはるか昔から研究・議論され、たくさんのルールが生まれています。おもしろいことに、投票結果によってはどのルールを使うかですべて結果が変わることもあるのです。実際に多数決以外のルールで投票を行っている国や機関の例も挙げられています。

集約ルールが実例とともにわかりやすく説明されています。しかし、読んでいただければ、どのルールにも長所と短所があり、民意を正しく汲み取ることが如何に難しいかがわかると思います。現行のルールで満足することなく、どのような形のルールにすればより民意を汲み取ることができるのか、考えていくことが必要と思わせられる1冊です。

タイトルだけを見ると、難しそうに感じられるかもしれませんが、新書でページ数も多くなく、読みやすくまとめられています。集約ルールの特徴も図表で簡単に理解することができます。図書館で「あと1冊！」を迷った際は、こちらの本をお勧めします。

(M・K)

☎ 堺市立図書館電話番号一覧 ☎

音声応答サービス	280-0415	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
中央図書館	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
くすのき号	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター 舳松人権歴史館	
堺市駅前分館	222-0140	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
中図書館	270-8140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
東百舌鳥分館	234-9600	美木多分館	296-2111		

ホームページ URL <http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>